トークと交流

ありのまま自分らしく生きる　多様なセクシュアリティの中で

地方での取り組みと国のうごき

2019年1月26日(土)

14：00～16：00（受付13：30～）

矯風会館３階集会室（階段手すり付き。JR 大久保駅北口徒歩1分。裏面地図）

最近、LGBTをめぐる状況は、よくも悪くも動いています。今回は、長野県での取り組みを紹介します。
2018年、県内3つの自治体で「性的少数者の人権を守るための請願」が出され、次々採択されています。
さらに、国の動向にも焦点を当て、性的マイノリティの未来を見据えていきたいと思います。
「ありのまま自分らしく生きる」とは？ ――ご一緒に分かち合いましょう！

トーク：**みや**さん　＆　**飯野由里子**さん

レインボーフェローズナガノ代表。

東京大学大学院バリアフリー教育開発研究センター勤務。

チケット　前売　800円　当日　1000円

郵便振替口座：00140-1-32469
加入者名「日本キリスト教婦人矯風会」
※通信欄に「1/26 集会」とお書きください。

主催・お問合せ：（公財）日本キリスト教婦人矯風会
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-23-5　Tel：03-3361-0934　Fax：03-3361-1160

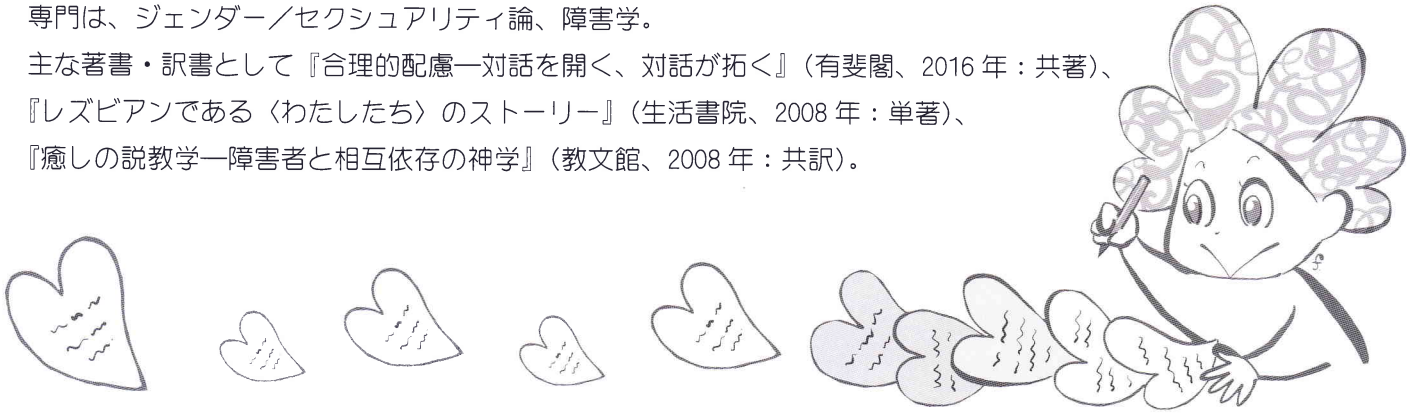
トークセッション登壇者プロフィール

みや

レインボーフェローズナガノ代表。
長野県出身。松本市に「性的少数者の人権を守る請願」を提出し採択される。
性的少数者とその家族、友人を対象にした「ＬＧＢＴおはなしカフェ」を長野県内で定期的に開催している。

飯野由里子（いいの・ゆりこ）

東京大学大学院バリアフリー教育開発研究センター勤務。
多様性が尊重されるインクルーシブな社会のための教育プログラムづくりに関わる。
専門は、ジェンダー／セクシュアリティ論、障害学。
主な著書・訳書として『合理的配慮―対話を開く、対話が拓く』（有斐閣、2016 年：共著）、
『レズビアンである〈わたしたち〉のストーリー』（生活書院、2008 年：単著）、
『癒しの説教学―障害者と相互依存の神学』（教文館、2008 年：共訳）。

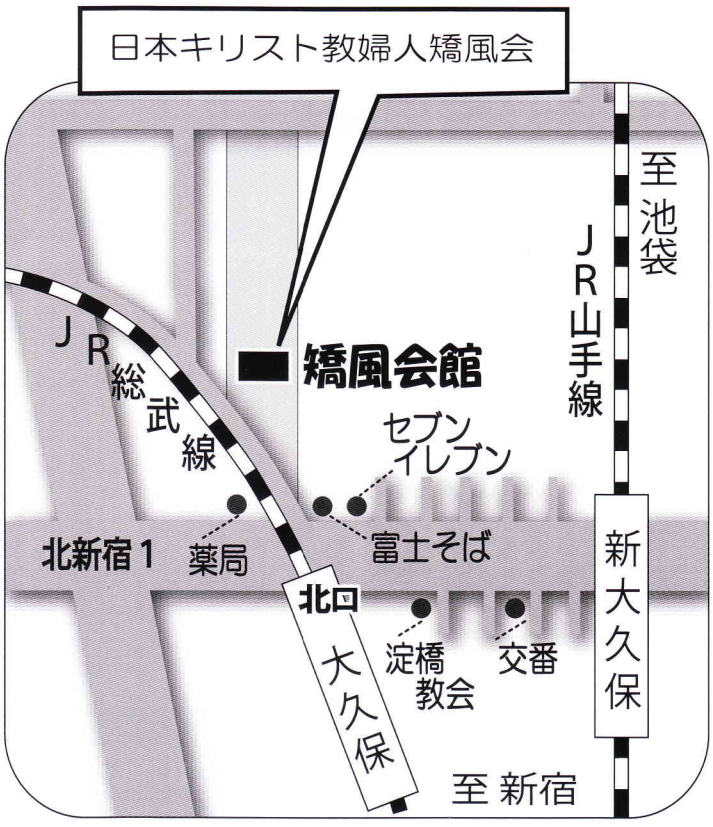


公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会（きょうふうかい）は…

1886 年（明治 19 年）に創立した、日本で一番歴史の長い女性団体です。キリスト教精神に基づいて、女性の視点に立ち、すべての人々の人権と平和が守られるよう、困難な状況にある人々 特に女性と子どもへの支援につとめ、社会全般の福祉の増進に寄与することをめざしています。

具体的には、武力によらない平和、脱原発、女性と子どもへの性暴力・性搾取問題、アディクション（依存症）問題などをテーマとした学習会・講演会を多く開催しています。女性のための施設としてシェルター運営も行っています。

所在地：東京都新宿区百人町２－23－５
電話：03（3361）0934
FAX：03（3361）1160
ホームページ：http://kyofukai.jp/



JR 大久保駅北口下車　徒歩１分。改札を出たら道路（大久保通り）を渡る。
薬局と富士そばの間の細い道を入る。JR 新大久保駅からは徒歩５分。